

# せいぶだより

37号 (2021 8月)



上野西部地区 令和 3 年 6 月末 人口 3,116 人  
帯数 1,508 人 男 1,507 人 女 1,609 人

発行 上野西部地区住民自治協議会  
伊賀市上野福居町 ☎0595-23-9779

## 伊賀市からの説明会

# 旧上野ふれあいプラザ等について

総務・広報・人権部会

7月9日、上野西部地区市民センターにて、上野西部地区住民自治協議会特別部会が開催されました。開催に先立ち伊賀市の東部長、百田部長から上野西部地区市民センター前面の道路美装化工事と旧上野ふれあいプラザのプロポーザル入札（下記注参照）の実施について次の通り説明がありました。

### 【旧上野ふれあいプラザについて】

同施設は忍者回廊の1つの拠点として検討されていましたが時間がかかるため切り離して単独でのプロポーザル入札を実施する予定です。入札の条件は

\*売却 土地、建物の一括

\*売却の条件

- (1) 売買した物件は、食料品や日用品を販売するスーパーマーケットや生鮮ドラッグストアといった店舗スペースを1階に設け、地域の活性化を図ること。
- (2) 売買した物件は、ア又はイのいずれかにより取り扱うこととしますが、いずれの場合も建築基準法等の関係法令を遵守し、買受人において必要な手続き及び費用負担を行うこと。またアスベスト含有調査結果で含有とされた建材については、関係法令を遵守のうえ適

正な作業基準に基づき処理を行うこと。

ア 売買建物を再利用すること。

イ 売買建物を解体撤去のうえ、地域の景観にふさわしい新たな建物を建築すること。

(3) 10年間は、提案した用途の利用に努めること（買戻し特約）

\*今後の予定

令和3年8月 公告

10月下旬 プロポーザル審査

11月上旬 売買契約

建物を再利用する場合、早ければ契約からおおよそ1年でリニューアルオープン（が可能と市は考えています）

【市民センター南側の道路美装化工事】

工事説明会 令和3年8月上旬

工事着手 令和3年8月お盆明け

注 プロポーザル入札とは

不特定多数の事業者の中から、定められたテーマの企画書などの提出を求め、最も適した提案をした事業者を契約の相手とする方式。売買価格のみで事業者を決定する方式ではない。



(広告)

「届けます」「見守ります」「支えます」

宅配専門 まごころ弁当 伊賀店

地域のお年寄りにお弁当を届けて 丸10年  
「伊賀市全域」「365日」「昼食と夕食の1日2回」

週に1回でもお届けします。お気軽にご相談ください。

伊賀市上野西町3370  
西町や かかん内

電話 0595-51-0569

8:00~18:00 (年中無休)

6月30日(水)午後3時、上野東町 菅原神社にて夏越大祓式が斎行されました。新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、一般の参列を遠慮願



い、神社の役員や宮委員など関係者 50 人余りでの開催となりました。参加者は、神社境内のプランターに植えられた花ショウブに出迎えられる中、菅原神社 菅青会により設置された茅の輪をくぐり、拝殿にて宮司から大祓いを受けました。大祓いは、自らの災いを避けるようにと、平安の時代から今日にいたる 1,200 年余の間、続けられてきた行事です。

### 俳画サークル

## 上野天神祭修理検討部会

上野天神祭の鬼だんじりなど祭礼懸送品の保存状況や修理について、祭町 13 町で協議する上野天神祭修理検討部会が、7 月 15 日(木) 上野西部地区市民センターで開催されました。

会議では復元修理審議会を経て国庫補助を受け、令和元年度より進められている、上野福居町 三明の前水引幕「西園雅集図」の復元新調事業の進行状況と令和 3 年度完成の報告がされ、引き続き水引幕の左面・右面・後面の「山鳥唐草花文」の、修理が説明されました。その後の修理計画については、徳居町太鼓台、中町楼車の構造、向島町楼車、西町楼車などが計画されています。



## 防災の豆知識

### 22 大雨 3

防災・防犯・交通安全部会

令和元年 10 月台風 19 号の千曲川決壊では、浸水地域はハザードマップに指摘されていたものとはほぼ一致をして居ます。洪水対策にハザードマップが有用であることがここからも判ります。伊賀市でも「伊賀市洪水ハザードマップ」「伊賀市土砂災害ハザードマップ」が作られています。

雨は土壌をゆるめ、山崩れなども引き起こします。平成 26 年 8 月豪雨による広島市の土砂災害は、3 時間で 200 mm を越す降雨が住宅地後背の山に土石流を発生させたというものでした。伊賀市西部地区にあっては、伊賀上野城の周囲(但し南方面は除く)は崖崩れなどの危険が指摘されています(伊賀市土砂災害ハザードマップ)。

無論、「これまで少々の雨では崩れることはなかった」のです。しかし、「少々の雨」であっても長時間降り続けば危険です。気象庁や自治体の出す避難情報に耳をかたむけ、出来れば避難所や安全な友人・知人のお宅に避難する事を考えてください。それが難しい場合には、崩れた土砂に埋まることを避けるため、二階の、崖などからは遠い所に、家庭内避難をするようにしてください。災害から逃れるための基本は「自助」(人任せではなく、自分自身が災害回避を心懸け、行動する)なのです。